

【第1回 災害対策本部会議】 9月18日

佐賀地方気象台／8時現在、大型で非常に強い台風14号は、中心気圧925hPa、最大風速50m、最大瞬間風速70mで、屋久島の南東の海上を北上中。そのまま海上を進み、長崎県に上陸、佐賀県を横断して通過すると予想している。

19日6時に佐賀県に位置し、930 hPa、風速45m、最大瞬間風速65mと強い勢力を維持していると予想している。このままだと、今日の昼過ぎに、暴風、波浪、高潮の特別警報の発表をすると想定する。

今後の見通しは、今夜18～21時に暴風域に入り、最接近は明日の明け方3～6時、暴風域を出るのが明日の12～15時の見込み。

雨の予想は、明日の6時までの24時間の雨量は200mm、19日は100mm～150mm。

19日の風は、北部沿岸で平均30m、有明海で45m、陸上で30m。

波は、北部沿岸でうねりを伴い7m、有明海では4m。

昨日の午前中に台風説明会で解説した。その後、各市町の首長に電話で、今日の夕方までの避難完了のお願い等、危機管理について共有した。

知事／特別警報の可能性は？

佐賀地方気象台／基本的に出す方向だが、基準の930 hPaより弱まると出せない。

知事／鹿児島県は特別警報が出ている？

佐賀地方気象台／出ている。

知事／特別警報は、熊本県、長崎県、佐賀県と順次？それとも一度に出るのか？

佐賀地方気象台／予報円内に入るところが、12時間前に出すルール。南から順次出る。

知事／鹿児島県、熊本県の状況を把握し、分析しつつ対応することが大事。

佐賀地方気象台／特別警報の有無に関わらず、台風が県内を通れば被害が出ることを前提に対策を。

知事／線状降水帯の動向は？台風が通過後の停滞リスクは？

佐賀地方気象台／通過後のリスクはない。現在、台風通過までに発生する線状降水帯を想定している。

知事／何日間も続くことは？

佐賀地方気象台／ないと予想している。

司会／危機管理・防災課では、昨日から他県と情報交換中。鹿児島県、熊本県の状況を注視していく。

国民保護・防災対策監／本日6時51分、県内に暴風、波浪、高潮警報を発令、災害情報連絡室を設置。9時16分、災害対策本部に移行。9時現在の被害はない。江北町が災害対策本部を設置、その他19市町は連絡室を設置している。

- ・避難指示：レベル4を江北町、レベル3の高齢者等避難を5つの市が発令。
- ・避難所の開設：6市町で74か所。避難者は、まだいない。
- ・警報：暴風警報 県内全市町

波浪警報 佐賀市、鹿島市、小城市、白石町、太良町

高潮警報 佐賀市、鹿島市、太良町

・満潮時刻：大浦港は、本日午後14時3分。唐津港は、15時55分
台風は奄美大島を通過したが、被害報告は入っていない。

坂本副知事／全20市町の避難所の準備は進んでいるのか。
危機管理防災課長／順次これから開設する。

司会／九州電力から、停電対応と広報の状況を。

九州電力／台風が九州を縦断し本州へ向かうコースのため、事前に応援者を頼めない。県内の社員、委託会社、OBの約140名態勢で準備中。委託会社は、九電工、佐電工。

倒木の除去等は、県の森林組合と連携し除去に当たりたい。また、県と災害協定を結んでいるので、県土整備部と連携し伐採関係も含めて情報共有したい。

停電への事前広報について。

- ・金曜日から広報カー約18台で、県内各所で台風時の停電への注意喚起
- ・ラジオ、FM佐賀、NBCラジオ等にスポットCMで周知
- ・20市町の自治体にホットラインを開設。防災無線等を使って周知を依頼。停電発生後も連携して対応する。

停電発生後は、県、20市町、マスコミに1時間置きに情報提供をする。停電時に、拠点施設、病院関係の非常用電源が切れるおそれがある場合、県内に4台ある高圧発電車を使って充電できるよう調整する。

本日9時現在、鹿児島県の大隅半島と薩摩半島と島、宮崎県の西海岸を中心に、2万6,000戸が停電。

知事／台風の進路では、停電しているのか。

九州電力／鹿児島市内、川内、出水方面はまだ停電していない。

坂本副知事／暴風域に入ったばかりだから？

九州電力／まだわからない。

知事／進路との関係を分析すると見えてくるものがある。そうすると、事前に打てる手があるはず。

県土整備部長／国が管理する六角川河口堰の閉鎖は、昨日 18 時 47 分に作業完了との報告を受けた。今後、潮位と河川の水位を見ながら調整される。

県営ダム、治水ダム、13 ダムは、通常よりも 50 cm～2 m 水位を下げ、洪水に備えたダムのポケットを確保している。現在、4 ダムで事前放流し、さらに水位を下けている。

- ・虹ノ松原周辺の虹ノ松原線、鏡山公園線を、昨日 18 時から全面通行止め。
- ・排水機場・水門は、停電でも動かす必要があるため、非常用電源を確保している。商用電源のみの排水機場には、発動発電機を手配中。
- ・工事現場での資材の飛散防止など、十分な安全対策を行うよう受注業者に注意喚起した。また、排水機場や水門、排水ポンプ車の運用は、安全管理の徹底を指示している。
- ・県立公園の吉野ヶ里歴史公園、森林公園は、18 日閉園。19 日も閉園予定、開園は台風の影響を見ながら判断する。
- ・吉野ヶ里歴史公園、森林公園、佐賀城公園での 18 日のイベント・大会は中止。

農林水産部長／ダムの洪水調整の貯留ポケットを確保した。クリークは、事前放流が終了。農業用機械の避難は、16 日に全市町に呼びかけた。

農作物の被害軽減対策として、農業振興センターから農家に情報を流し、ハウスのビニール対策、被害の想定等もアナウンスした。

県有施設、21 世紀県民の森は 18 日、19 日を休園。

健康福祉部副部長／現在、停電等に関する被害の情報は入っていない。停電で問題が発生した場合、医療機関、高齢者施設、障害者施設には非常用電源の確認や県医師会、郡市医師会、市町に連絡するようにしている。

在宅で人工呼吸器を装着している医療的ケア者には、保健所や医療的ケア児支援センターが、状況把握に努める。

新型コロナ感染の自宅療養者が避難する際は、市町に連絡し、自宅療養者専用避難所またはスペースへ避難することになる。躊躇せず避難するよう連絡している。生活支援物資は、19 日に発送ができない可能性が高い。陰性の同居家族や買い物ができる人に届けてもらうなど、天候が荒れる前に当面の食料の確保をしてもらうよう連絡している。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン佐賀のイベントは、17 日でイベントを終了。

防災監／工事現場の対策は、県土整備部以外の農林、文スポにも連絡済みか。
農林水産部長／はい。

知事／9時16分、私を本部長とする災害対策本部を設置、最大限の厳戒態勢をとる。18日の夜から19日の午前中までが要厳戒時間。

台風の進路である鹿児島県、熊本県、長崎県で起きている現象を分析するチームを作り、起きている情報を本部で共有する。そうすれば、事前の対応をどうすべきか、事後の対応をどうすればいいのか、あらかじめ設定ができる。佐賀県だけの狭い範囲で考えずに、今後の台風の経緯や現在の状況に向き合う。各セクションが、そういう意識を持ってほしい。

気象庁、気象台を中心に、九州電力にも参加してもらった。今後、強風、大雨、洪水等が発生した場合に対応するオペレーションチームとして、警察、自衛隊、消防、海保との動きをシミュレートしてほしい。順次、対策本部の中で共有して、連携をとることが大事。

対策本部の目的を意識し、得た情報を共有し、チームを組んで対応する。ここに実践的な意味があることを認識してほしい。

台風14号は、有明海の西側から佐賀県を直撃して抜けると想定され、非常に厳しい進路だと言える。2年前の台風よりも強い可能性がある。特別警報が出る可能性があり、強風への警戒をしなければならない。大雨対策は、「プロジェクトIF」などで対応している。今回は、強風に注意してほしい。

市町で、避難所設置を順次進めている。できるだけ、昼間のうちに市町の指示に従って避難してほしい。今のうちに停電へ備え、本日の午後から外出は控えた方がいい。今晚から明日の朝までが要警戒時間帯。命を最優先に対応してほしい。